
Instructions for use

取扱説明書



DirectStream P12 Power Plant



Owner's Reference

Owner's Reference DirectStream Power Plant

Introduction	2
Getting Started	3 -10
Warranty	11

Important Safety Instructions／安全のための手引き



安全のために下記の注意事項を守ってお使いください。



警告：発火や内部回路ショート等の原因となりますので水をかけないでください。

本体の清掃は乾いた布を使用してください。

燃えやすいものを機器の上においたり、巻いたりしないようにしてください。

振動のあるところや湿気が多いところには、放置しないようにしてください。

また、機器のふたは開けないようにしてください。

電源ケーブルを踏んだり、むりやりコード部を引いてコンセントから抜いたりしないでください。

電氣的衝撃を防ぐ為にアースに接続された、3 ピンタイプの電源ケーブルを使用することをお勧めします。

DirectStream Power Plant と他の機器を接続するときは電源スイッチを切ってから接続してください。また、接続する他の機器の電源スイッチも切ってください。

改造や取り扱い説明書に記載されていない使用方法による故障は保証の対象外となりますのでご注意ください。

- この取り扱い説明書は必ずご覧ください。また失くさないように保管してください。
- ヒューズの交換や掃除をされるときは電源を抜いてから行うようにしてください。
- 水気のある近くでは使用しないでください。また湿気の多いところでは使用しないでください。
- 破損や、磨耗している電源ケーブルは使用しないでください。

何かトラブルが生じた際は購入された販売店もしくは正規輸入元の完実電気㈱までお申し付けください。

ご購入頂き有難うございます。

PS Audio/ DirectStream P12 Power Plant (AC リジェネレーター) をご購入頂き有難うございます。この取扱説明書を参照の上、P12 を最高のパフォーマンスでお楽しみ下さい。この取扱説明書には、P12 の機能とその性能についての概要、並びに細かな仕様を記載しております。もし、更に詳しく知りたい、疑問点が解決されないといった場合には、以下へお問い合わせをお願い致します。

PS Audio (英文のみ) : Service@psaudio.com

完実電気(株)- 輸入代理店: tinfo@kanjitsu.com

PS Audio/ 完実電気は、P12 のオーナーの皆様をサポートして参ります。

Power Plant の世界へようこそ

P12 は、ご家庭の電源環境に左右されることなく正しく整流された AC 電源を供給する機能を搭載した製品です。汚れ、歪のない整流された AC 電源は、オーディオコンポーネントの性能を正しく引き出すには欠かせません。P12 は、発電所からリスニングルームまでの「距離」という問題を解決し、発電所の 50 フィート(15 メートル) 圏内にリスニングルームをもってこれるような世界初の製品です。

設置上の注意

場所

壁のコンセントからの距離や接続する機器との距離を考慮の上、設置場所を決めると便利です。また、ラック内に設置する場合には、天面上に十分な空間を開けて、空気を循環させるようにしておくと、P12 内部の温度が不要に上がることを防ぐことができます。P12 を収納するラックは、耐荷重や防振構造に配慮されたオーディオ用に設計されたラックをお勧めします。P12 には、AC ケーブルが付属されていますが、P12 の性能を最大限に発揮するためには、シールド等対策がされたオーディオ用電源ケーブルの使用を推奨しています。効果があります。

環境

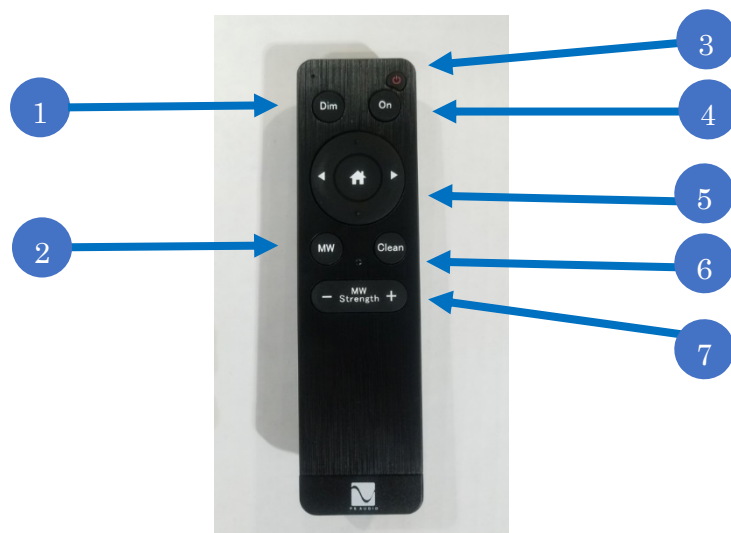
P12 以外の電源関連製品を P12 とあわせて使用することはお勧めしていません。使用する場合には、条件や効果等十分確認の上、判断下さい、音の空間表現や映像表現から、P12 以外にも電源関連製品を導入しよう、という場合もあるか、とは思いますが、P12 は、入力、出力ともに十分に効果の高く安定しているパッシブ・フィルターを搭載している他、電源入力には、エクストラソケットを採用、さらに、出力には、別にフィルターを追加するなど、徹底した対策を施しておりますので、きっとご満足頂けると確信しています。

入力インレット

P12 は、日本市場向けの製品(100v)の場合には、15A で、1,000VA までの電源供給能力となります。よって、機器の接続状況により、15A -1,000VA を超える負荷が連続してかかった場合には、壁コンセントのオーバーロードを防ぐため、P12 はシャットダウンし、電源出力が止まります。

付属品

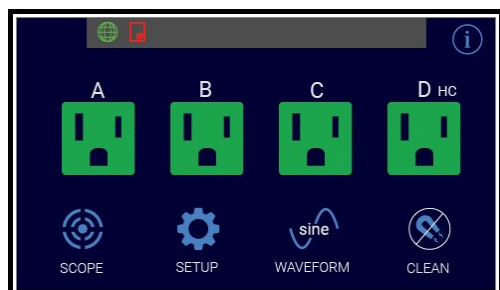
リモコン、電源ケーブル、取扱説明書(英、日)、SD カード、フェライトコア



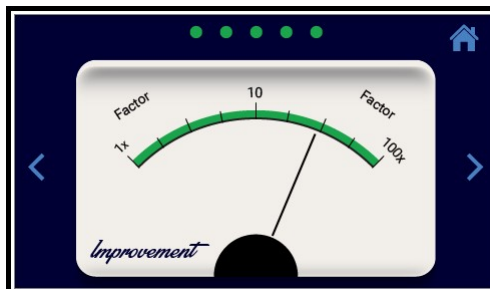
リモコン

- 1- Dim: ディスプレ表示のオンとオフ
- 2- MultiWave: Multi Wave Mode のオン・オフ
- 3- Power: Standby オン・オフ
- 4- On: 本体電源をONにし、Dimmerでディスプレイがオフになっている場合は、ディスプレイも同時にオン
- 5- Homeと矢印: 現在表示されているディスプレイ上の機能をリモコンで操作可能です
- 6- Clean: Clean Wave 機能のオン・オフ
- 7- MWストレングス: 1-6で可変、+で強、-で弱で可変可能

操作



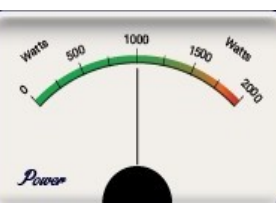
本体背面のメインスイッチを入れると、本体ディスプレイ部に”Initialize”の表示が現れます。”Initialize”が終わるとディスプレイ上に **Main Menu** の内容が表示されます。



コンセントの表示がディスプレイ上に表示されます。各コンセントが各ゾーンを表示しています。緑色のソケットを押すとカラー：レッドに変わり、そのゾーンの電源出力が止まります。

この表示は、30 秒間表示された後、初期設定スクリーンが表示されます。

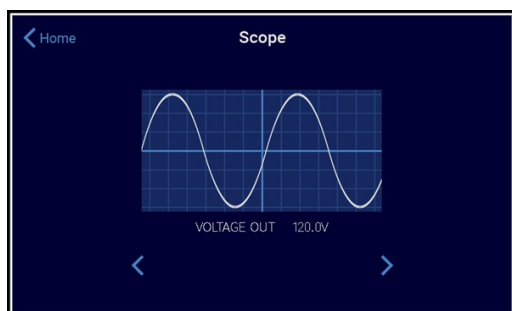
下にあるメーターを長押しすると、トップメーターと表示内容を入れ替えることができます。電源状況を継続して確認できます。

			
Improvement Factor (改善率) 改善率は出力と歪を合わせて平均をとった数値となります。これは、P12 が入力してきた AC 電源をどれだけ改善したか、を示す指標となります。	Distortion Out (出力電圧の歪率) P12 から出力される電圧の歪率を表示します。	Distortion In (入力電圧の率) P12 へ入力される電圧の歪率を表示します。	Power P12 から出力されるワットageを表示しています。

「ご注意」

P12は、オーバーロードした場合、シャットダウンします。80%以上の連続負荷がかかるとオーディオシステムに必要なピークの耐負荷が減ってしまいます。無論、P12は最大負荷での連続動作は可能ですが、その場合、電源の取り込み等での余裕が無くなってしまいますので、ご注意ください。

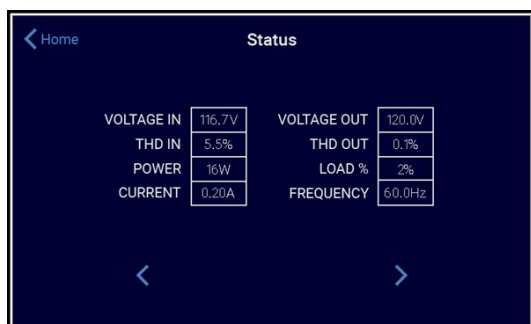
Scope (スコープ)



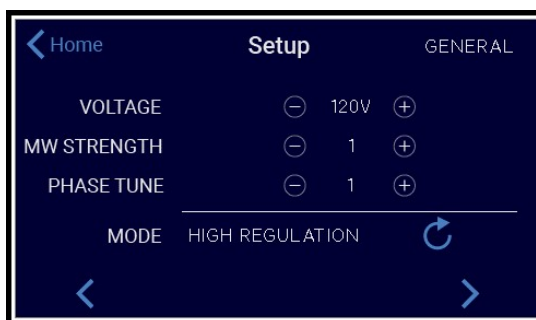
ホームスクリーン上にある **Scope** のボタンを押すと、「**Scope**」の画面が表示されます。

オシロスコープタイプの画面には、波形で、入力電圧、出力電圧、そして、入力→出力の差を表示する画面が表示されます。

Status



この画面では、**P12** の動作状況を示す全てのデーターを参照することができます。抜群の歪率の改善と安定した電圧出力が実現されているのを、確認頂けます。左上にある「**Home**」を押すと「**Home**」のスクリーンへ戻ります。



「セットアップ」を押すと
「セットアップ」スクリーンが現れます。

Voltage

Voltage: 電圧では、自分の好きな電圧を設定することができます。

(日本向け: 範囲: **95v - 115 v**) 全ゾーン同じ電圧で電源を供給します。ゾーン毎に電圧を設定することは出来ません。

MW Strength

Multiwave(MW)は 1-6 で設定することが可能です。「Main」画面上の「WAVEFORM」で「Sine」⇄「Multi」の切替で Multiwave の設定は可能ですが、「セットアップ」画面では、用途や好みにあわせて、Multiwave の強度を 1-6 で設定が出来ます。(WAVEFORM: Sine-1, Multi-4 に相当します。)

Phase turning

Phase tuning は、Voltage, MW strength と並んで重要な設定機能です。Phase Tuning を使って、P12 は入力電流の波形が 0 ボルトで交わるように、感知するポイントまで入力電流の Phase を調整します。これにより、出力電流のサインカーブの歪が改善されます。特に、入力電源の電圧が低い場所ほど、Phase turning の設定変更させると、その効果は大きく、出力電源の歪の改善に貢献します。AUTO TUNE で自動設定が可能です。Status の出力電源の歪が 1%-2%の範囲であれば、Phase Tuning は、「0」の設定をお勧めします。

Mode

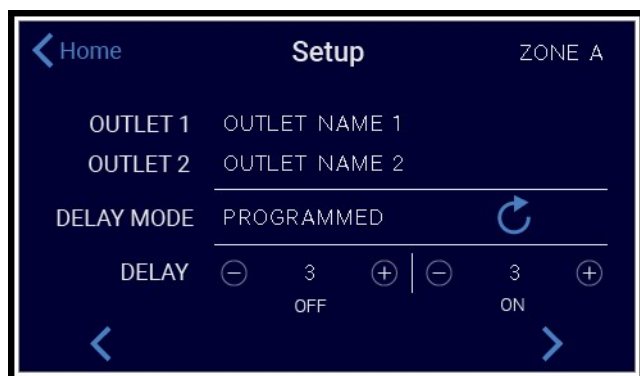
「Mode」には、High regulation と Low regulation があります。High regulation が初期設定となっています、High regulation は、歪は Low regulation と比較してやや増えますが、出力電圧はほぼ均等となっており、抜群に安定しています。Low regulation はその逆で、歪の改善は High regulation に比較しても、改善されますが、出力電圧に安定さでは劣ります。用途やお好みで、選択下さい。

Dimmer

画面上にある Dimmer スライダーを動かすことで画面の明るさを最適な明るさに調整することが出来ます。

Setup

ホーム画面上にある SETUP キーを押すとセットアップ画面が現れます。



Outlet

P12 には、4 ゾーン、8 プラグインが搭載されています。それぞれのゾーンは独立しており、ホーム画面のプラグインのアイコンの押切で、各ゾーンの電源出力コントロールが可能です。

Delayed Mode

ゾーン毎に電源出力のオン、オフのタイミングを変更し、接続機器の特性や突入電力への対策を図ることが可能です。

1: SWITCHED

初期設定されています。フロントパネルの **Standby** を **On** すると、本体の電源が入り、**Off** すると、3 秒以内に電源が切れます。

2: DELAYED

このモードを設定すると、フロントパネルの **Standby** を **On** すると、3 秒後、本体の電源が入り、**Off** すると、直ちに電源が切れます。

3: PROGRAMMED

このモードを設定すると、本体の電源 **On/Off** のタイミングを自分で設定することが出来ます。

4: REBOOT

このモードを設定すると、一度電源を切った後、3 秒後自動的に電源が入ります。

5: AUTO-REBOOT

ルーターの電源を P12 につなぎ、このモードに設定すると、ルーターの電源入力時に、自動で、PS Audio のサーバーへアクセスします。PS Audio のサーバーへのアクセスが成功すると、**hello, I'm an active network device and the router is working.**「ハロー、ネットワークサーバーが正常に機能し、ルーターも問題なく動いています。」とメッセージが出ます。何度かルーターへのアクセスが遮断されたり、データーの送信がうまくいかなくなると、P12 はルーターがフリーズしたと判断し、自動的に電源の切り⇒入りを実行し、接続を回復させる努力をします。モデムを P12 に接続した場合も同様の動作をします。このモードは、**Standby** の **On/Off** とは無関係に動作します。

6: ALWAYS ON

このモードに設定すると **Standby** の **On/Off** に関係なく、バックパネルの主電源が **On** になっている限り、電源はバックパネルのアウトレットから常に出力されます。レコーダーやテレビのタイマー録画の設定が出来るモードとなります。

「ご注意」

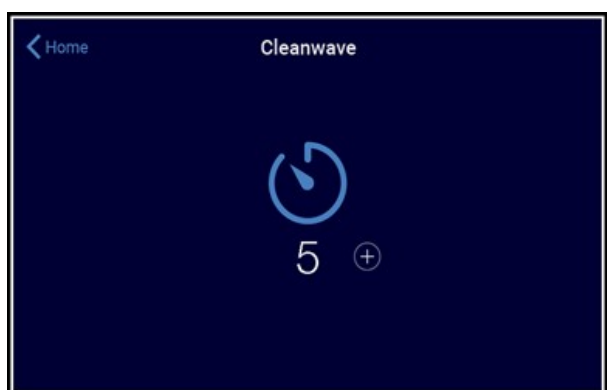
画面下部の > < でゾーンを変更することが出来ます。画像は **Zone A** を示していますが、各ゾーンとも項目は同じとなっています。

Firmware Screen



ホームスクリーンの右上にある・・・を押すと **Firmware** の情報が現れます。**Firmware** の情報はソフトをアップデートしますと記載内容が変わります。

CleanWave



ホームスクリーンの **CleanWave** のアイコンを押すと **CleanWave** が作動し、スクリーン上に時計が表示されカウントダウンを始めます。時計横の+のアイコンを押して、時間を延ばすことができます。

CleanWave は、高周波を使って、接続している機器内部の消磁をかける機能です。**CleanWave** をかける際には、**CleanWave** をかける機器の電源を **On** にしますが、再生等はさせないで下さい。消磁用の信号が音楽信号にのり、再生を妨げる可能性があります。**CleanWave** は、CD プレーヤーやターンテーブルのほか映像機器にも効果があります。



P S A U D I O

Getting Started

Owner's Reference DirectStream Power Plant

DirectStream P12 Power Plant	
使用環境	
場所	屋内
湿度	80% 以下
動作可能な温度	-40度~+40度
入力電圧/ 周波数	100 V, 15A, 50Hz / 60Hz
仕様	
本体サイズ (横 x 高さ x 奥行き mm)	430 x 102 x 360 (突起物含まず)
質量 (本体)	16.7 kg
梱包サイズ (横 x 高さ x 奥行き mm)	610 x 250 x 530
質量 (梱包時)	21.7 kg
入力可能電圧範囲	75V-120V
出力	1,000 VA
最大瞬間負荷	1,200 VA
出力歪	0.5%以下 (抵抗負荷、無効負荷とも)
出力抵抗	0.008 ohm 以下
効率 (15A時)	85%以上
消費電力	35W (スタンバイ時)
入力周波数	45- 65 Hz
サージ電流 (Peak)	6,000 A
クランプレベル	340 V
DC トリガー コンフィグレーション	Trip positive
DC トリガー	5-15V

Warranty / 保証について

正規輸入ディストリビューターが販売する製品で、部品材料の欠陥、製造上の問題での不具合と認められた製品は保証期間内の無償修理対象となります。必ず購入販売店へご連絡・ご相談ください。

日本国内での保証期間はユーザー様ご購入後 1 年となります。

保証書には条件および規定があります。詳細は、製品に付属されている保証書をご確認下さい。

PS Audio 社は、製品の設計変更、価格、仕様を変更する場合があります。

アフターサービス

一般的な修理は、販売店を通じ正規輸入ディストリビューターにお送りください。その際、正規輸入ディストリビューターが発行している「保証書」を、修理品に貼付していただきますようお願い申し上げます。

その他

製品の外部損傷、事故による損傷等は製品がお手元に届いた時、速やかに販売店へご連絡ください。

最初にご連絡がない場合、保証対象外になる場合がございます。また、不適切な操作、不適切な電源(電圧等)への接続、製品への改造等が認められる場合、保証対象外になります。